

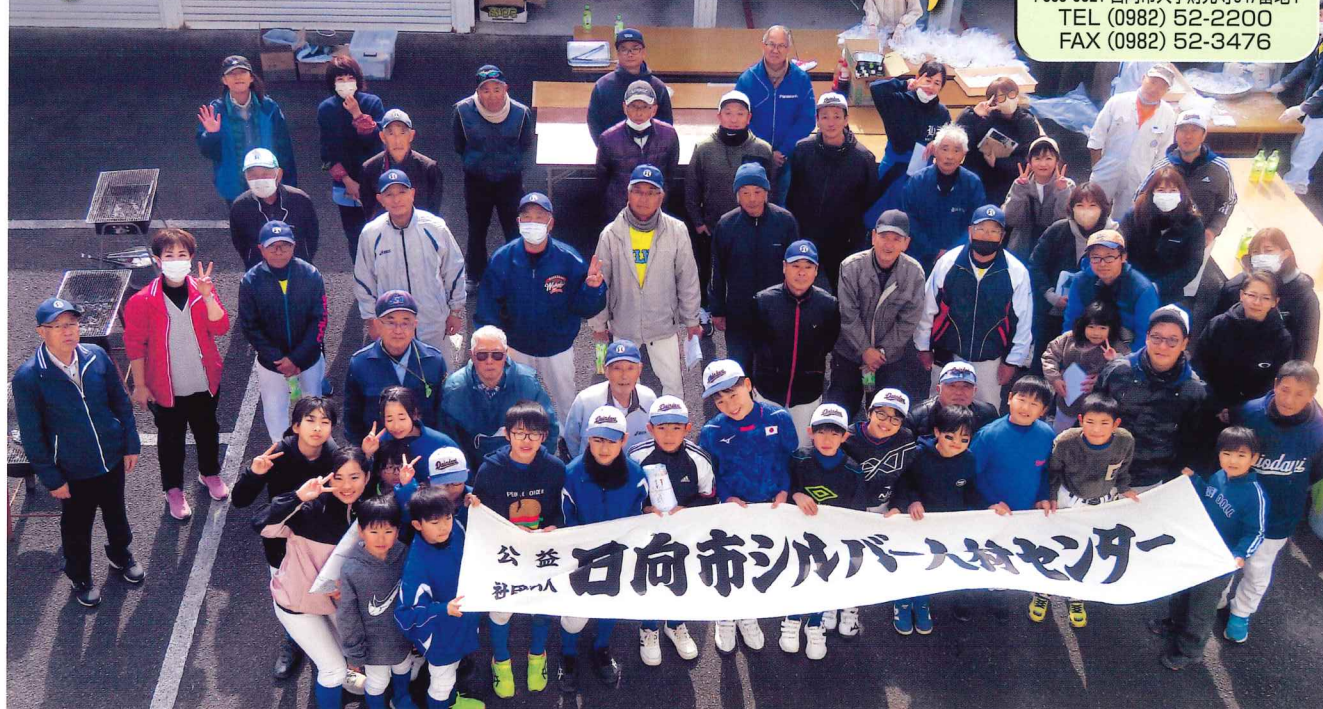
シルバー日向山甲

第 69 号

令和7年8月1日

編集発行

公益社団法人
日向市シルバー人材センター
〒883-0021 日向市大字財光寺847番地1
TEL (0982) 52-2200
FAX (0982) 52-3476



理事長

あいさつ



理事長
尾崎 光一

暑中お見舞い申し上げます。

今年の梅雨明けは6月27日と早く、1951年の統計開始以降九州南部は2番目に早い梅雨明けとなりました。連日猛暑が続いておりますが、各々の就業場所では大変なご苦労をされて頑張つて頂いている事に対し、心より感謝申し上げます。

令和7年度の定時総会が皆様方のご協力のもと無事終了することができました。まず「令和6年度事業報告並びに決算報告及び監査報告・役員選任」について原案どおり可決承認をいただき役員一同新たな気持ちでセンター運営と事業執行に取り組んでまいります。

さて、近年シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものがあり、令和5年にはインボイス制度が導入され、昨年の11月には、フリーランス新法が施行されました。これに伴い、センターは、消費税の負担の増加や事務処理も膨大になりました。それに対応するために昨年は会員の協力を得てスマートフォン等のデジタル化を推進し効率化を進めてまいりました。

しかしながら、高齢者雇用安定法の改正により新規会員の加入が伸び悩むとともに、会員の高齢化が進んでいることから、発注者の要望にもなかなか対応できなくなっている状況にあります。

こうした中、センターの存在感が低下することにならないよう会員拡大・就業開拓を重要課題として取り組み、地域社会や発注者のご要望・ご期待に添うようシルバー事業の一層の充実・強化に努めてまいります。そして、令和7年度は引き続き「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、地域社会の担い手となる場としての機能強化を図ってまいります。

なんと申ししても、シルバー人材センターの仕事で最も重要なことは、安心・安全な就業であります。事故を未然に防止するには、会員一人ひとりの意識に頼るところが大きく、今後も皆さんが自分のこととして捉え事故撲滅に取り組んでまいります。

会員の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

結びに、まだまだ暑い日が続きますが会員の皆様におかれましては、体調管理に十分留意していただき、お元気で活躍されることをお祈り申し上げます。

5/30日
(金)

令和7年度 定時総会



事業報告、決算と監査報告、役員を選任の3つの議案について承認され、滞りなく総会を終えることが出来ました。ご出席くださった会員の皆さん、ありがとうございました。

表彰者の皆さん

二十年会員表彰

日知屋本郷B班 児玉 稔

この度は、永年会員表彰を受賞させて戴き、誠にありがとうございます。

二十年間、たくさんの方々に支えられて、楽しく過ごさせていただきました。



シルバー人材センターの益々のご繁栄と、皆様方のご多幸・ご健勝を念じ、お礼といたします。ありがとうございます。ありがとうございました。

財光寺D班 山本 ケサ子

幸せなことです。二十年間働かせてもらってありがとうございます。これからも頑張ります。

財光寺D班 原田 鶴代

「あつ」と言う間に二十年……。色々な仕事に携わり、その都度、色々な人との出会いがあり、楽しい事・教えられる事も多く

十年会員表彰

日知屋本郷B班 岡村 正士

今回の永年表彰、有難うございました。表彰受賞、少し緊張しました。

十年間様々な仕事をさせてもらい、現在伊勢ヶ浜の管理人をさせて頂いてます。

今年八十歳、元気なうちは頑張りたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



財光寺A班 堀吉 茂延

今回の永年表彰ありがとうございます。今後の永年表彰が第一、健康第一に作業に集中して頑張りたいと思います。



日知屋本郷A班 駒田 一志
十年で表彰されました。次、二十年までがんばります。

財光寺A班 福川 文子

入会してから三ヶ所目の現場になりました。今が、一番楽しく仕事しています。自分の体力を見ながらがんばります。これからもよろしく願います。

日知屋本郷B班 山崎 時男

今後とも体に気を付けて続けて行きたいと思っています。

新町・塩見班 佐藤 政広

永年会員表彰を受賞を受けて、十年間が長いようで短かった感じがしました。今後も健康第一で、シルバー生活を邁進していきます。ありがとうございます。

日知屋本郷B班 平野 東

あつという間の十年でした。身体がつづき限り、頑張りたいと思います。

日知屋本郷B班 安倍 正敏

この間シルバーに入会して、あつという間に十年たちました。何をしたのか、色々やりました。プールが良かったのですが、なくなりましたので残念です。また、体調が良くなれば頑張ります。



細島班 近藤 好子

あつという間の十年でした。自分としては、体の動く限り在籍したいと思っています。

財光寺C班 本田 稔

この年齢の自分に働く場を提供して頂いている事に感謝致します。健康の為に、もうちょっとだけ頑張ります。

日知屋本郷A班 嶋田 純子

楽しい十年で、「あつ」という間でした。これからも頑張ります。

日知屋本郷A班 小村 清美

気が付けば十年、早い。あと何年出来るか分かりませんが、体の動くかぎり、仕事・民生委員と頑張ります。

日知屋本郷B班 浜松 慶蔵

入会して早や十年、いろんな事があつたけど、無事頑張る事が出来ました。偏に事務局のスタッフのおかげと感謝しています。今後ともよろしく願います。

議長

美々津班 黒木 真一

令和七年度定期総会が滞りなく終了しました。事務局並びに会員の方々のご協力に改めて感謝申し上げます。

私見ですが、この定期総会というのは非常に重要な行事であると思います。一つの組織を「見える化」・「数値化」して、スケルトン状態にした上で、その情報を「共有化」する事で、問題が顕在化するからです。今さら公益社団法人のレゾナードルを論ずる気もありませんが、現在、会員数は四百三十名(令和7年7月現在)です。日向市内でこれほどの数を有する組織は、市職員を除いては稀有な筈です。

三人寄れば文殊の知恵と言いますが、四百人居れば、どれ程の事が成し遂げられるかと思うと少しもつたない気がしてなりません。

願わくは、郷土の碩学であられる諸先輩方には、ぜひ声を挙げて頂き、今後の活

躍の有り方等を御助言いただければ嬉しく思います。



司会

財光寺D班 石川 晴子

令和七年度の総会も無事終わり、新年度の事業も会員の皆様と同時に始まりました。

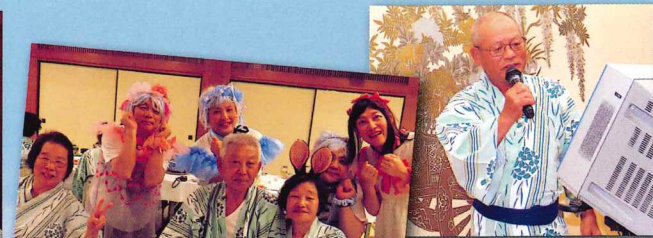
総会の司会に当たって感じた事、出合いの場所である事、前に立つて会場の会員の姿、明るく真剣な眼差しで聞き入る姿を観て素晴らしいと思いました。

シルバー人材センターとは働くだけの場所ではなく、皆さんと触れ合いの場所であり、出合いの場所、健康づくりの場所(センター)だと思いました。

これから先も経験豊かな人材として活かせるように、会員の皆様が多様な活動にご活躍される事ご祈念申し上げます。





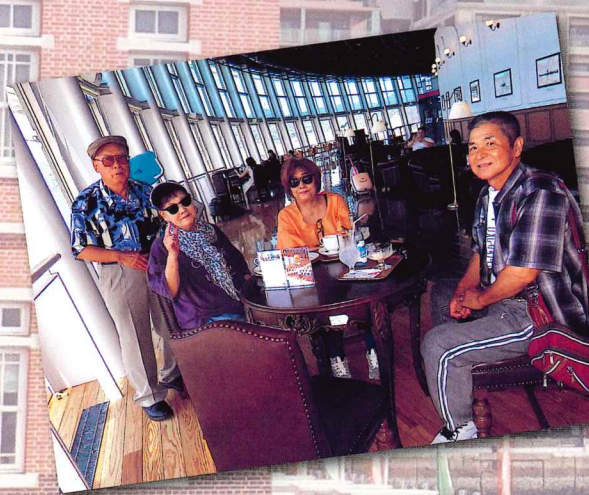


6月26日(木)
~27日(金)

会員親睦

一泊旅行

門司港~
下関の旅



会員一泊旅行

財光寺D班 吉田 一義

行きは門司での観光。お昼は瓦焼チーズカレーを頂いて、バスに揺られてきまらるの漫談を見て笑いながら思い出の旅を過ごし宿に着く。

疲れを癒す温泉を楽しんで、いよいよの宴会。皆さんの歌声に聞き惚れ、ついに出しやばりおじさんの出番が来ました！マイクを握れば皆さんと一緒に司会で盛り上げ、最後に職員による可愛いダンスで楽しい楽しい一日になりました。

二日目は日本を代表する建築家が計画した高層マンション(タワー)。高さ一四三メートルから関門海峡が一望でき、素晴らしい見学が出来ました。あとはいつものバスゲームで終わり。
初めての旅行でしたが、又行きたいものです。

ミニ門松贈呈

令和6年
12月20日
(金)



ぞうきん寄贈
teとteの会



1月6日
(月)

安全祈願祭



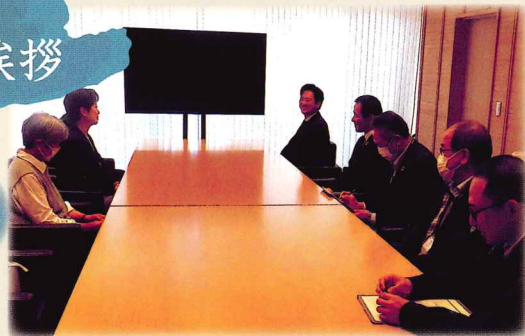
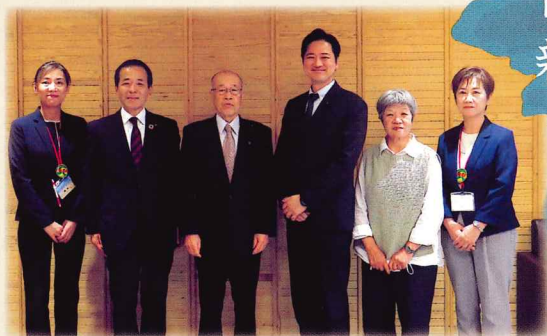
2月3日
(月)

本棚寄贈
図書館



市長へ
新年度挨拶

4月15日
(火)



7月8日
(火)

綾町SC視察来庁



朝市



令和6年
12/21(土)

みなこんね朝市

令和7年
6/7(土)



1/25
(土)

第17回 世代間交流 ソフトボール大会

VS 大王谷スポーツ少年団 お倉ヶ浜総合公園にて



5年振りの交流試合でしたが、シルバー精鋭(?)チームは健闘むなく惜敗。全国大会へ出場する程の実力を持つ小学生チームが強さを見せてくれました。その後の交流会也大盛り上がり。選手の皆さんお疲れさまでした!

大会名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	得点
対戦相手	大王谷スポーツ少年団	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
対戦相手	シルバー日向岬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



第51回 グラントゴルフ大会

お倉ヶ浜総合公園にて

1/31
(金)



優勝

日知屋校郷A班 石井 猛文
今回もまぐれのワン一回があつてのことだと思ひます。
たしか女性の方がワン無しで二位だったと思ひますけど、真の実力者だと感心しました。
いつも楽しく遊ばせていただけてますが、毎回準備・運営・片付け等、スタッフの皆様へ感謝申し上げます。



二位

富富A班 松木 照江
寒い時期という事もあり、四十名くらいの参加だったと思ひますが、その日はなんと二打が多く、いつになく調子が良い日でした。
1ゲーム・2ゲームの合計で、まさかまさかの二位と呼ばれ「びっくりポン」でした。
私がグラントゴルフを始めて、初めての三位以内。賞品も良く、最高な一日となりました。
シルバーに入っているいろいろな方と出会え、毎日が楽しく過ごせています。
ありがとうございます!



5月23日
(金)



事務局だよ！

会員さん 募集中！

体を動かすことが好きな方、空いた時間にちよつとお仕事してみませんか？事業所や個人宅、短時間から一日作業まで：色々な働き方ができます。

シルバーは除草・

剪定だけじゃない！

例えば、事務所の掃除、早朝の作業（ボール拾い、農産物の収穫）など、事業所様からは「募集をしても時間が短すぎて人が集まらない」「若い人は続かない」と言つたご相談があります。

また、仕事だけではなく、サークル活動やいろんな行事に参加して、楽しい仲間と楽しい時間を一緒に過ごしませんか？

時間もあるし、

何かやってみようかな？

シルバーに入つた友達が、

楽しそうにしているなあ、

知らないだけで意外といいかも、

と思つたら、ぜひシルバー人材センターへ！お待ちしております。

令和7年7月現在の会員数

合計 430人
男性 258人
女性 172人

全国のシルバー人材センターで

『新たな仲間づくり計画』に取り組んでいきます！

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を推進し、生きがいの充実、健康の保持増進、そして地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減、孤独・孤立の防止などに貢献しています。特に、最近の調査では、後期高齢期におけるセンターでの活動継続が、介護予防に一定の効果を与えることが示されたところです。

地域の課題を踏まえた積極的な取組の強化を目指し、また地域社会の期待に応えるべく、本年度からセンターの持続的な発展の要となる会員の拡大に向け「新たな仲間づくり計画」に基づき、女性会員の拡大や新規入会促進・退会抑制等の取組をより強力に推進してまいります。

（全国シルバー人材センター事業協会

総会決議 要請文より）

○計画期間

令和7年度から令和12年度の6年間

○全国純増目標数

10万人超

○日向市センターに課された目標数

年度	純増	累計
R7	12	12
R8	12	24
R9	13	37
R10	13	50
R11	13	63
R12	14	77

『退職のあいさつ』



皆吉 真一

この度、一身上の都合により7月15日で退職させていただくことになりました。

2年弱という短い期間ではありましたが、シルバー会員の皆様との交流、笑顔はなにもにも代えがたく、私の人生の大きな財産となりました。幸せでした。

これからも日向市に在住しておりますのでお目にかかることもあるかと思ひます。その際は笑顔で挨拶しますので思ひ出して頂ければ幸いです。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

本当にありがとうございました。



編集後記

今回の表紙は、一月に行われた世代間交流ソフトボールでの写真を掲載しました。試合では楽しさと悔しさが入り混じりましたが、それ以上に選手の子供達がつかりしていて感心させられました。

今年の夏も猛暑が続いていますが、そんな中、各地ではお祭りや花火大会が開かれています。花火といえば「たまやゝ、かぎやゝ」の掛け声が有名ですが、この掛け声は江戸時代の花火師・玉屋と鍵屋に由来しています。

日本の打ち上げ花火は正徳元年（一七二一年）、幕府の命により隅田川で初めての花火を鍵屋が打ち上げて以降広まったと云われています。その後文化五年（一八〇八年）にのれん分けして出来たのが玉屋でしたが、両国の川開きにて鍵屋と玉屋が川の上下に分かれて競演し、そこで観客が掛けた屋号の掛け声が現代まで伝わっているということです。

ただ、玉屋が活躍したのはたつたの三十五年。不慮の失火が原因で江戸を追放、一代限りで廃業となつてしまいました。一方の鍵屋は現在十五代目が継いで健在です。一代限りだったにも拘らず未だに掛けられる「たまや」の声。これから打ち上げ花火を見る時はそんな歴史に思いを馳せるのも良いかもしれませんね。



■編集委員

河野 道代
和佐 裕子
黒木 幸子

■事務局職員

甲斐 純子
黒木 順子
那須 崇